

特典知識

■チェックリスト

- ・ 普段から何に反応しているか？（例 良いニュース、悪いニュース）
- ・ 何にエネルギーを注ぎ込んでいるか？（趣味や特技、仕事や学業）
- ・ どんな言動をしているか？（前向き、後ろ向き、丁寧、乱暴）
- ・ どんな気配を出しているか？（キラキラ、だくだく、熱血、クール）
- ・ 何を応援しているか？（好きな物）
- ・ 何にフォーカスしているか（気持ちの良い物、不快な物）

このあたりに答えていけば日常的に何にエネルギーを注ぎ込んでいるかがわかる

■反応に関して

「反応」する行為はエネルギーを強める

良いものに反応する→良いエネルギーが強まる

悪いものに反応する→悪いエネルギーが強まる

良いものに感情的に反応する→良いエネルギーがさらに強まる

悪いものに感情的に反応する→悪いエネルギーがさらに強まる

反応する「感情の強さ」がそのまま「エネルギーの強さ」になる

■エネルギーの方向性を簡単に見極めるコツ

- ・ 自分はお金を何に使っているか？
- ・ 自分は何に情熱を注ぎ込んでいるか？
- ・ 自分は何に時間を使っているか？
- ・ 自分は何に労力をかけているか？

これらを理解すれば自分の方向性が明確になる

■良いエネルギーを強める実例

基本：自分のリソース（時間や労力、情熱やお金）などを良いものに使う

●自分に対しての良いムーブの一例

- ・自分の成長や勉強、スキルアップのためにお金や時間を使う

●他者に対しての良いムーブの一例

- ・良いプロジェクトに投資して応援する
- ・良い作品を購入して応援する
- ・良い活動をしている人を金銭的に応援したり声援を送り精神的に支援する
- ・ファンアートなどで支援する

▼エネルギー循環が滞り、良いエネルギーを育めないタイプの一例

- ・良いものに対しては無反応・無関心で悪いものばかりに反応する
- ・良いプロジェクトや良い人、良い作品などにはお金を使わず応援もせず、悪いものばかりに過剰に反応する
- ・悪い面ばかりに目が行き、日々不満ばかりを口にする
- ・良い未来や希望のある話には懐疑的な態度を取るのに、悪い未来や悪い話に関しては真実味を感じて信じている（善を信じず、悪ばかりを過剰に信じる）
- ・自分のためにならない浪費物や報われないものに対して多大な情熱やお金を捧げる（エネルギーの浪費）
- ・自分のスキルアップや自分の将来に役立つものに対してはお金や時間をケチり、どうでもいいものに対しては大盤振る舞いで無駄遣いをする（エネルギーの使い所の優先順位を理解していない）

■エネルギーを良い形にするコツ

- ・良いものに反応する（良い人、良い出来事、良い知識、良い技術、良いニュース、良い物等）
- ・良いものを周りに置く（美しいもの、気高いもの、気分が良くなるもの、楽しいもの等）
- ・良い人と互いに有益な人間関係を築く（片方だけに利がある一方的な関係はNG）
- ・悪いものに過剰に反応しない（悪い人、悪い出来事、悪いニュース、邪悪なもの、冷血なもの、グロテスクなもの等）

ワンポイント1：朝は頭がすっきりするゴールデンタイム

休日である土日の朝は更に良い

朝一で自分の好きな趣味や運動、勉強やスキル習得をすると吉

▼悪い例

- ・朝の起きがけに他人の思考を自分に混ぜ込むのはNG

朝一でSNSを見たり悪いニュースを見て憤慨する（せっかくの朝一の満ちあふれたエネルギーが怒りで浪費される）

こうした無駄な事ばかりをしていると他人に翻弄され、エネルギーを取られて何も成し遂げられない

- ・朝一でメールチェックをしたりSNSを見る

朝のすっきりした頭の中に、他人の思考を混ぜこむ事でエネルギーが浪費される

ワンポイント2：根暗な人はどうすればいいか？

明るくなかったりキラキラした気配が出せなくても、丁寧な気配や相手をリスペクトした気配なら誰でも出すことができる

無理に明るくなる必要はない → 相手に敬意を払っていたり丁寧なら明るくなくてもOK

「自分は根暗だから…」を免罪符にダクダクとした暗い気配や悪い気配を垂れ流したり、冷えた意見を言うのを正当化するのはNG

※それは単に「相手に対する思いやりや配慮が足りない」だけのケースが多い

■エネルギーを吸ってくるタイプの一例

無神経な人、乱暴な人、冷血な人、態度が横柄な人、弱者に対して高圧的だったり冷淡な人、裏表が激しい人、相手の身分や肩書によって態度を露骨に変える人、相手の身分によって過剰にへりくだる人、不誠実な人、嘘つきな人、他人に責任転嫁する人、依存してくる人、ダクダクとした黒い気配を出してくる人、後ろ向きすぎる人、無闇矢鱈に他者を傷つける人、独善的な人、自己中心的過ぎる人、欲深い人、周りが見えない人、思い込みが激しい人、感謝できない人、他者に敬意を持てない人、自分の意見を通すだけの人、知恵やアイデアを貰っても当たり前だと思っている人、他者から貰って当然だと思っている人

※やり取りをしていて疲れる人、神経をすり減らす人、嫌な気分になる人はエネルギー的にも百害あって一利無しなので交流を止めるか付き合う時間を減らすと良い

■必要なものにエネルギーを使えない人（出費に関しての悪いケース）

弱気になったり日和ったり、ソロバン勘定をしてエネルギーの出費をケチり、チャンスを逃すパターン

- ・自分の今後の躍進にとってその機器を買うことが必要なケース、学ぶために出費が必要なケースにおいて出費をケチりチャンスを逃がす
- ・どうしてもいい物には無駄に出費するのに、肝心な物を買う時には出費を惜しんでチャンスを逃がす
- ・「必要性やチャンスの有無」ではなく、ソロバン勘定を弾く事で単に高いか安いかで物事を判断してしまう
(チャンスを掴むセンスがどんどん錆びつく)
- ・コストパフォーマンスだけを突き詰めようとする则自分への最適解が感じられなくなる
(「お買い得かどうか？」だけで物事を見てしまい、自分に最適かどうかで物事を見れなくなるが)

■冷えた意見を言う人間

悪い意味で場の空気を読めずに、ワイワイしている場に冷や水をぶっかける発言をする人間は「場のエネルギー視点」で見れば、場の空気を一瞬で冷やしてつまらなくしている
(他人が用意した場の出来事なら更にNG)

そうした行為は意図して行っていないならエネルギーを冷やす行為だと自覚して改めるのが賢明で、意図して行っているなら場を壊してエネルギーを盗もうとするエナジーバンパイアの気質がある人間だから要注意となる

※おおよそその場合、こうした冷えた意見は悪い意味で場の空気を読まず、単に自分の意見やエゴを通したいだけの利己的な動機であることが多い

- ・優しい人であれば場にそぐわない冷えた意見をいきなり言う必要性を感じない
- ・間違っただ点を指摘をしたいのであれば当たりの柔らかい言い回しをしたり、誠意を持って話したりと方法はいくらかでも存在している
- ・冷えた意見をいきなりぶつける人間は、自分が場を冷やしている事すら自覚できていない自己中心的なケースが多い

■言い訳をしてもエネルギーは嘘をつけない

「私はあの人のために苦言を呈しているんだ」と言い訳しながら他人を批判しても、その時にまとっている気配が非難がましいものだったりダクダクとした暗い気配だったり、悔った気配を出していたら生み出されるエネルギーはマイナスエネルギーになる

仮に相手を正しく諫めたいと思うなら、誠実な気配や相手を思いやる気配、相手に向き合う気配などを出していなければならない

(大抵の場合、そうした行動をする人間に誠実な気配は無く、単に相手を感情的に叩きたいだけか、自分の意見やエゴを通したいだけのケースが多い)

※良いものや良い行動には反応せず、悪いことばかりに反応してダクダクとした暗い気配で小言を言っているなら、生み出すのはマイナスエネルギーばかりとなる

■エネルギーにも常識感覚を持つ

他人のお金をいきなり盗んだら窃盗になるのと同じように、他人のエネルギーを盗んだり相手の意思に反して勝手にコントロールしようとするのは問題のある行為だと理解する。

エネルギーの常識感覚があれば「何らかの力で他人の運命を変える」や「他人のエネルギーを盗んで自分の運命を変える」などというものは問題だらけの愚行であることがわかる。

※他のまともな世界や宇宙ではそうした行為は物理的な窃盗や暴行と変わりが無い愚かな犯罪行動だと認識されている。

エネルギーの感覚を持たず、狭い世界の知識と低いレベルの認識しか所持していないと、そうした行為が問題だと感じられない。

「他人の持ち物を勝手に使ってはいけない」

「他人の持ち物を盗んではいけない」

こうした常識レベルの感覚さえ無いので、愚かな行為を繰り返してエネルギーの負債を抱え込んでしまう。

「自分さえよければいい」

「自分が幸せなら他人のことはどうなってもいい」という行為に問題を感じられない人間は常日頃から他人のエネルギーを盗んでいたり、悪いエネルギーを数多く生成しているケースが多いので注意する。

■よりピンポイントにエネルギーを高める

- ・自分が大事にしたいものに反応する
- ・良い事にフォーカスするという段階から、自分がこの世界で強めたい要素に反応するという概念まで昇華させることで、自分が強めたいエネルギーをよりはっきりとさせる
- ・自分の住む世界を優しい人たちばかりにしたければ、優しい行動をする人に反応して褒めたたえたり、自ら優しい行動をしたり、優しい行為や優しい人達に注目することでそのベクトルのエネルギーが高まり、君の住む世界に優しい人たちが増えていく
- ・綺麗なもの、美しいものばかりに注目していけば、綺麗なエネルギーは高まる
楽しいことに注目していけば世界には楽しいことが増えていく
- ・自分が注目するものを決めることで、自分のエネルギーの方向性をよりくっきりさせていく
- ・良い事に注目すれば良いエネルギーは高まる
その中でも「特に注目するものは何か？」を決めることでエネルギーベクトルがはっきりして自分が生きる世界の形が明瞭になっていく

■事象は常に落とし所を求めている

エネルギーの質や流れを観測すると、エネルギーは常に落とし所を求めている事がわかるようになる

正しく自分が育んできたエネルギーの世界を味わうことになる

- ・「自分が求めている、いない」は関係がない
- ・「自覚の有無」は関係がない

自分が普段から育んでいるエネルギーの世界を味わうことになる

(ある意味では正しく「自業自得」が生まれる)

※ワンポイント

一見すると物理的には幸せでも精神的には地獄の世界で生きている人もいるし、貧しい環境でも幸せな人もいる

自分がどんなエネルギーを育んでいるかによって、自分が見て聞いて感じる世界が変化する

■復讐を考えなくてもエネルギーは帳尻を合わせる

事象は落とし所に落ちるため、不誠実な生き方をする者は他者に復讐をされなくても結果的には帳尻を合わせる事になる

（自分が育んだ世界を生きる事になる → 不誠実な行為で不誠実なエネルギーを強めているなら一瞬も油断できない不誠実な地獄世界を生きるはめになる → 裁きを下さなくても既に当人は地獄に居る事になる）

これと同じ理屈で「他人を騙したり不誠実な行為を行う人間」が幸せな生活を送ろうとしても、自分が生み出すエネルギー自体が悪いものであるため、人生の中に悪いものばかりが現れる事になる

※いくら富を集めても疑心暗鬼になり、生活が豊かになったとしても不誠実なエネルギー材料で築き上げたものは本人に牙を剥くため、本人の心に「失う恐怖」や「裏切りの不信感」の種を常に植え付け、心を蝕んでいく

（自分自身が常に行っていた行為が返ってくるため、心は常に疑心暗鬼になり地獄を味わうことになる）

■自分のSNSを見ればエネルギーの質がわかる

- ・自分が普段どんなことをSNSで呟いているか
- ・自分が普段どんなことをメールで呟いているか
- ・日常生活の中で自分はどんな言葉を口にしているか

これらを吟味すると自分が普段から生み出しているエネルギーの質が理解しやすくなる
特にSNSでは周囲にそのエネルギーを放つため、自分自身の世界へと反映されやすくなる

※文章には本人の信念や思いが強く乗りやすいので、自分の放つ文章が自分と周囲にどんな影響を与えるかを理解する

※自分が経験したい世界を変えたいなら、こうした所からチェックをはじめて徐々に良いエネルギーになるようアウトプットを修正していく

■良いエネルギーは強い

良いエネルギーはとても強いので「良い事を考えている時間」と「悪い事を考えている時間」が等量なら良いエネルギーの方が遥かに強くなる

（悪い事を考えてしまう事に対して必要以上に怯える必要は無い）

※それでも不安な場合は悪い事を考えてしまった時に、少しでも良い事を考えて打ち消しておくといい

これらの感覚を「机上の知識」ではなく「実体験を通しての肌感覚」として感じて、扱えるようになると自分の生きる世界が強まる